

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査の目的は、家庭から排出される家庭系ごみ（生ごみ、その他の紙、雑がみ）、事業所などから排出される事業系ごみについて組成割合を調査し、ごみの排出状況を把握するとともに、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料とすることである。

2. 調査実施内容

① 家庭系（可燃）ごみ

- 【実施日】 平成29年11月24日（金）
- 【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井 6-2）
- 【季節】 春・夏・秋・冬
- 【試料採取地域】 桔梗野地区
- 【集積所の形態】 ステーション方式（町会等）、ステーション方式（集合住宅）、毎戸方式
- 【備考】 ポリバケツ、集積ボックス、防鳥ネット、三方コンクリート
- 【可燃収集曜日】 火曜・金曜
- 【想定条件】 学生居住地域
- 【採取量】 201.8kg（集積所10か所分）
- 【気温（平均）】 1.1℃
- 【収集時間】 12分

② 事業系（可燃）ごみ

- 【実施日】 平成29年11月14日（火）
- 【調査場所】 南部清掃工場（弘前市大字小金崎字川原田 54）
- 【季節】 春・夏・秋・冬
- 【採取量】 200.4kg
- 【気温（平均）】 12.1℃

③ 家庭系（雑がみ）

- 【実施日】 平成29年11月28日（火）
- 【調査場所】 市内古紙再生業者
- 【季節】 春・夏・秋・冬
- 【採取量】 401.9kg
- 【気温（平均）】 3.5℃

3. 調査手順

(1) 試料の回収

① 家庭系（可燃）ごみ

調査対象の集積所から市職員がごみを回収し、指定の場所に搬入する。

② 家庭系ごみ厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）

①で調査した厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）を回収し、指定の場所に搬入する。

③ 事業系（可燃）ごみ

中間処理施設へ持ち込まれたごみを施設担当職員の誘導のもと、指定の場所に搬入する。

④ 家庭系（雑がみ）

古紙再生業者へ持ち込まれた資源物を施設担当職員の誘導のもと、指定の場所に搬入する。

(2) 分類及び重量の記録

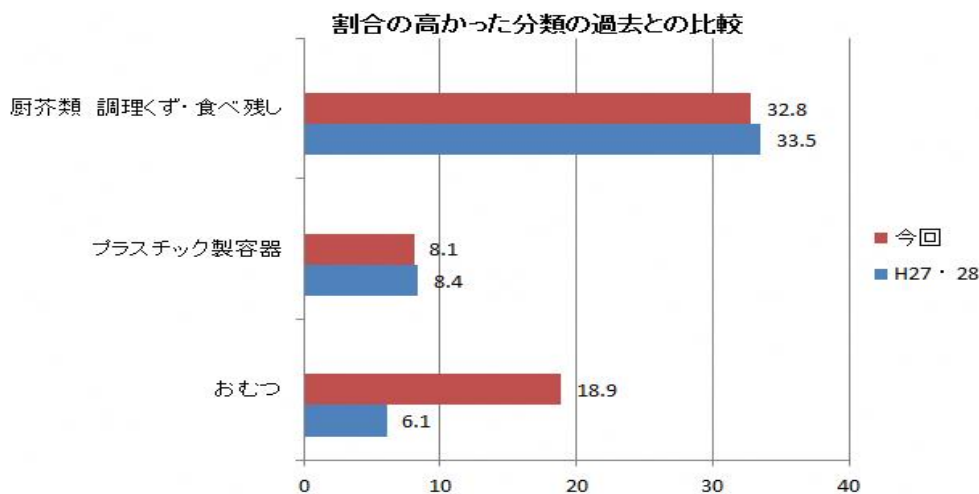
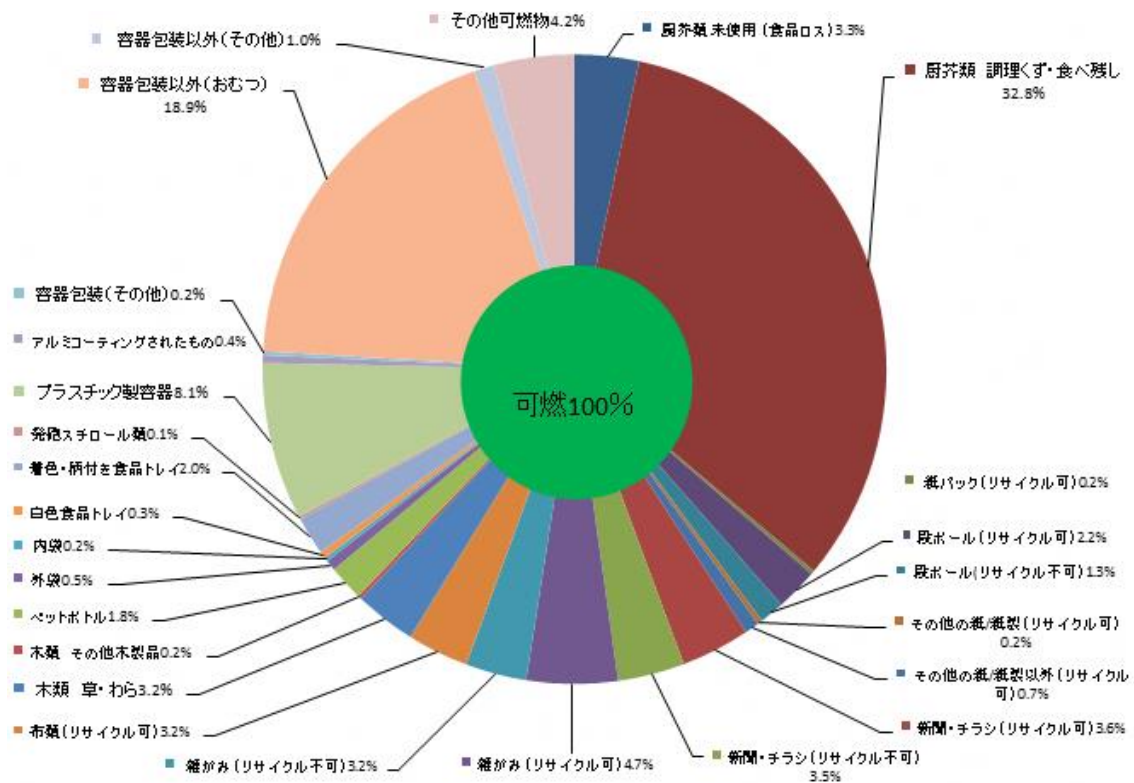
搬入された試料の分類を行い、組成区分ごとに重量を計量し、記録する。

第2章 調査結果

① 家庭系（可燃）ごみ

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

重量比で10%以上の大分類の組成項目は「厨芥類（生ごみ）」（36.1%）、「プラスチック類」（33.5%）、「紙類」（19.6%）の3種であり、全体の約89.2%を占めていた。個別に見ると、厨芥類（生ごみ）「調理くず・食べ残し」（32.8%）、プラスチック類（容器包装以外 おむつ）（18.9%）、プラスチック製容器（8.1%）の割合が高かった。

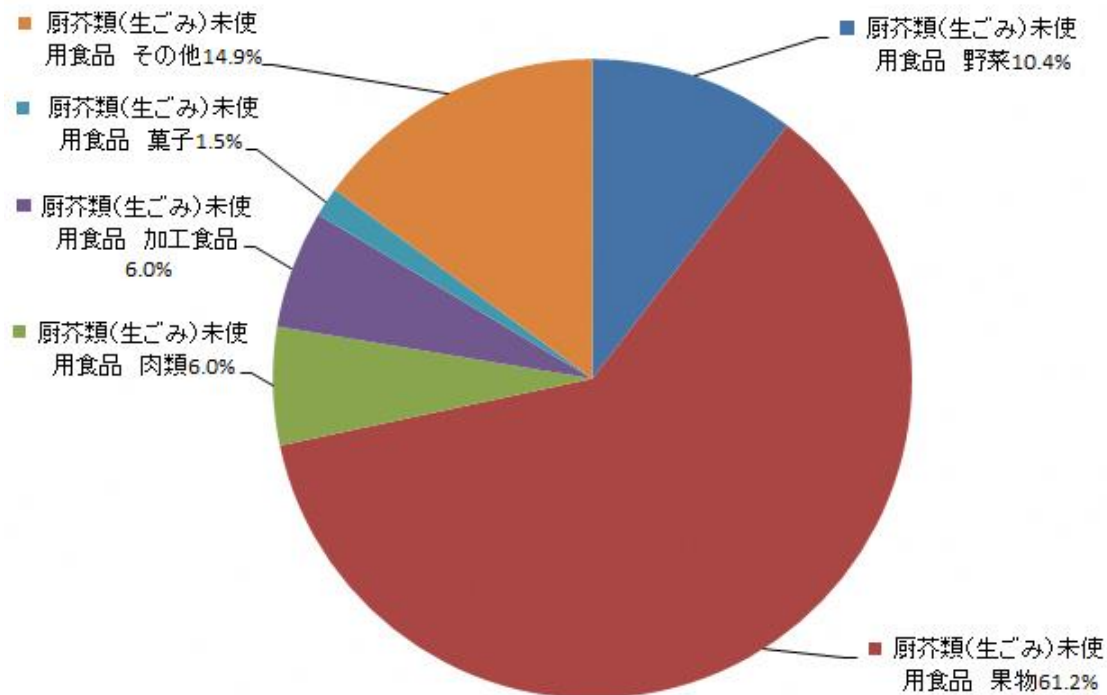


②家庭系（可燃）ごみ 厨芥類 未使用・食品ロス

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）についてさらに細分化し調査した。

傾向としては果物が多く、特にりんごの割合が多かった。



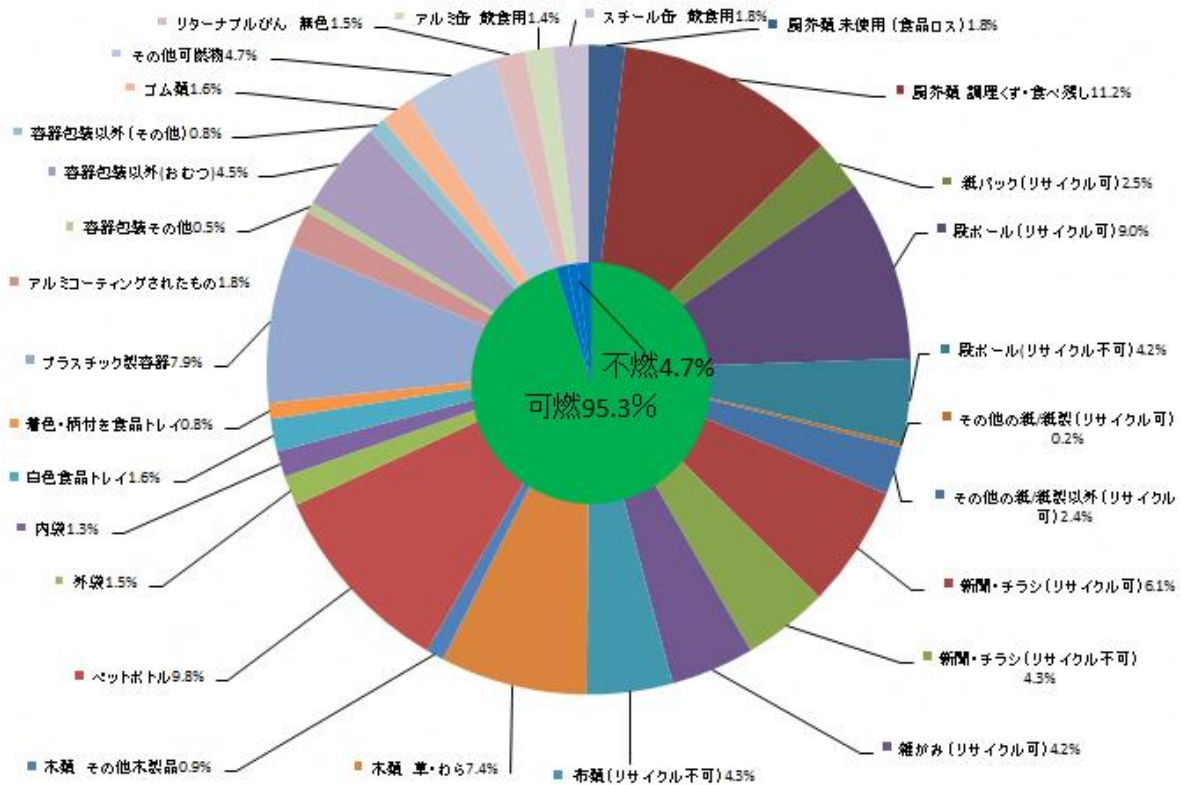
③ 事業系（可燃）ごみ

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

割合が高かったものは、「厨芥類（生ごみ）」（13.0%）、「紙類」（32.9%）、「プラスチック」（30.5%）の3種であり、全体の76.4%を占めた。

個別にみると、厨芥類（生ごみ）「調理くず・食べ残し」（11.2%）、容器包装「段ボール」（リサイクル可 9.0%）、容器包装「ペットボトル」（9.8%）、容器包装「プラスチック製容器包装」（7.9%）の割合が高かった。

平成27～28年度実施分と比較してプラスチック類全体（平成27～28年度平均19.97%）、不燃全体（平成27～28年度平均1.13%）の割合が高くなっており、厨芥類全体（平成27～28年度15.9%）紙類全体（平成27～28年度40.3%）の割合が低くなっていた。

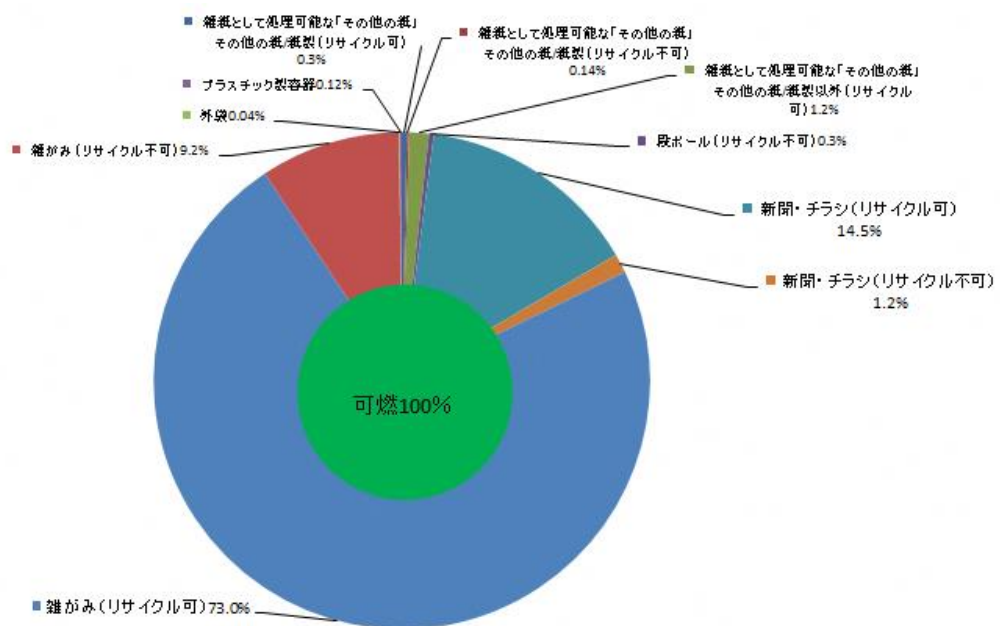


④ 家庭系（雑がみ）

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

割合が高かったものは「新聞・チラシ（リサイクル可）」（14.5%）、「雑がみ（リサイクル可）」（73.0%）の2種で、全体の87.5%を占めていた。

概ね適正に分別され排出されていたが、紙ひもでなくビニールひもで排出されているものが多かった。



第3章 分別適正率

①家庭系（可燃ごみ）

分別適正率とは、家庭系（可燃）ごみに出されたごみ総量から、紙類・布類のリサイクル可のもの、ペットボトル、不燃物、処理困難物を差し引いた割合のことである。

今回の調査では分別適正率は83.4%（平成27～28年度平均85.8%）となった。

算定式

分別適正率＝総量－【紙類（リサイクル可）＋布類（リサイクル可）＋ペットボトル＋不燃物＋処理困難物】

$$=100\% - (11.6\% + 3.2\% + 1.8\% + 0.0\% + 0.0\%) = 83.4\%$$